

アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究

－水辺の小さな自然再生の普及促進－

Study on Building and Utilizing Network for the River Restoration in Asia

－ Promotion on Collaborative Nature Restoration －

水循環・まちづくりグループ 研究員 後藤 勝洋
 技術参与 土屋 信行
 水循環・まちづくりグループ 研究員 伊藤 将文
 河川・海岸グループ 研究員 内藤 太輔
 生態系グループ 研究員 阿部 充

1. はじめに

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、2006年11月の設立以降、河川・流域再生に関する情報を交換・共有することを通じ、会員間のコミュニティを拡げながら、各地域に相応しい河川・流域再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的として種々の活動を展開している。また、国際的な河川再生に関する知識・技術情報の交換と人材交流を目的に設立された「アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN)」の日本窓口を担い、中国・韓国等のアジア各国との協働・連携を進めている。

本稿では、当研究所と(株)建設技術研究所国土文化研究所が共同で運営するJRRN事務局の2015年度の活動概要を報告する。

2. 2015年度のJRRN活動内容

2-1 2015年度の活動概要

2015年度にJRRNが取組んだ主な活動概要を表-1に示す。特に重点的に取組んだ活動として、「水辺の小さな自然再生の推進に向けた現地研修会と事例情報の普及促進」が挙げられる。

2-2 水辺の小さな自然再生の推進に向けた現地研修会と事例情報の普及促進

本調査研究は、近年各地で広がりつつある、地域住民が行政と連携し、手作りを中心に取り組まれている「小さな自然再生」の普及促進に向けて、人材育成と技術向上を図るため、2014年度に作成した「水辺の小さな自然再生事例集」を教材として活用した現地研修会や、最新事例紹介や今後の更なる推進の方向性を議論する意見交換会を開催した。また、活動成果と全国の事例を幅広く共有・発信するため、ホームページを制作・公開した。

なお、本調査研究は、(公財)河川財団の河川整備基金の助成を受け実施したものである。

表-1 2015年度の主な活動概要

テーマ	活動概要
河川再生に関わる情報共有基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・JRRN ニュースレター発行 ・JRRN ニュースメール発行 ・JRRN/ARRN ウェブサイト運営 ・JRRN-facebook 運営 ・「小さな自然再生」ホームページ制作・運営(河川整備基金助成事業)
河川再生の普及・啓発に向けた行事等の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「桜のある水辺風景2015」写真募集 ・「第12回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」開催(韓国・大邱) ・「小さな自然再生」現場研修会開催(河川整備基金助成事業) ・応用生態工学会 自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う!IV」開催(郡山) ・国際河川シンポジウム・「アジアの河川再生」分科会開催(オーストラリア・ブリスベン) ・「河川技術が果たすイノベーションと社会貢献」国際シンポジウム開催(京都)
河川再生に関わる調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の小さな自然再生の推進に向けた現地研修会と事例情報の普及促進(河川整備基金助成事業)
河川再生に関する冊子等の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・「桜のある水辺風景2015写真集」発行 ・「小さな自然再生現地研修会 開催報告」発行 ・「自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う!IV」講演録」発行
河川再生の推進に向けた国内外団体の支援や協働	<p>【国内活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の巡回展運営協力 ・遠賀堀川再生プロジェクト企画運営協力 ・東彼杵町水辺からのまちおこし企画運営協力 ・海外視察団受け入れ支援 <p>【海外活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第10回ARRN運営会議」企画調整・運営協力 ・国際河川財団(IRF)との連携強化

(1) 「小さな自然再生」現場研修会

「小さな自然再生」現場研修会は、小さな自然再生の考え方や留意点、現場の工夫等を、実際の現場での活動に参加しながら学び、研修参加者の知識と技術の向上及び本分野の知見を蓄積することを目的とするもので、2015年度は、岩本川(愛知県豊田市)と高時川(滋賀県長浜市)の2河川で実施した(表-2)。

岩本川現場研修会(2015年9月8日開催)は、矢作川水系岩本川の管理者である豊田市矢作川研究所の協力を得て開催したもので、岩本川の特徴・課題(地域

の方々の川離れ、後継者不足、流下能力不足など)を踏まえ、住民参加で実施可能な小さな自然再生のアイデア出しを、ワークショップを通じて行った。

高時川現場研修会(2015年11月2日開催)は、事例集でも取組を紹介した高時川の管理者である滋賀県長浜土木事務所の協力を得て開催したもので、“瀬切れ時の魚の逃げ場所づくり”を検討課題として、根固めブロックによる水制工の具体的な設置位置の提案を行った。研修会のフォローアップとして、滋賀県より研修成果を活用した試験施工が行われた。

(2)「小さな自然再生」ホームページ制作

「小さな自然再生」に興味を持って、取組を始めた人と考えている人から既に取組んでいる人まで、幅広い方々を対象に、水辺でできる小さな自然再生の考え方や事例、関連情報を集約した「水辺の小さな自然再生ホームページ」を制作・公開した(図-1)。

3. おわりに

JRRNでは、2016年度も「小さな自然再生」の普及促進に向けて、市民参加を重視した現場研修会を継続的に実施するとともに、多様な媒体による定期的な情報発信や国内外の団体の活動支援等に取り組んでいる。



- 【ホームページの基本構成】
- 小さな自然再生とは (考え方を紹介)
 - 小さな自然再生の進め方 (留意点などを紹介)
 - 事例紹介 (事例集の13事例を含む事例紹介)
 - ブログ (関連する様々な情報等を紹介)
 - 行事案内&報告 (研修会等の案内と成果を紹介)
 - 参考資料 (ウェブサイト、関連書籍等を紹介)
 - 問合せ (相談窓口)

図-1 「小さな自然再生」ホームページ

表-2 2015年度「小さな自然再生」現場研修会

	第1回現場研修会	第2回現場研修会
開催場所	愛知県豊田市・岩本川	滋賀県長浜市・高時川
開催日	2015年9月8日(火)	2015年11月2日(月)
協力団体 (河川管理者)	豊田市矢作川研究所	滋賀県長浜土木事務所
プログラム	(午前)座学研修 ①岩本川における取組み(矢作川研究所) ②小さな自然再生のすすめ(三橋弘宗:兵庫県立大学 自然・環境科学研究所主任研究員) ③地質・地形特性から見た岩本川(原田守啓:岐阜大学 流域圏科学研究センター 准教授) ④岩本川の生物群、生息場(矢作川研究所) (午後1)岩本川現地踏査 (午後2)ワークショップ ①上西郷川 市民主体の多自然川づくり(林博徳:九州大学大学院 工学研究院 助教) ②ワークショップ	(午前)座学研修 ①小さな自然再生のすすめ(三橋弘宗:兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 主任研究員) ②水制に関する技術~シェルターづくりの技術~(岩瀬晴夫:株式会社北海道技術コンサルタント) ③高時川における取組み(滋賀県長浜土木事務所) (午後1)高時川現地踏査 (午後2)ワークショップ ①高時川の特徴とワークショップ検討課題(滋賀県流域政策局) ②ワークショップ 瀬切れ時の魚の逃げ場所づくり
参加者	37名(一般参加:15名、豊田市関係者:10名、事例集編集委員会12名)	45名(一般参加者:18名、滋賀県職員:20名、事例集編集委員会7名)
研修状況		
開催経緯	岩本川は、小さな自然再生を住民参加で行うプロジェクトを立ち上げたところであり、その関係者である編集委員を通じて、小さな自然再生のアイデア出しの協力をさせていただくこととなった。	高時川は、事例集で紹介した河川で、自然再生事業を継続的に実施する計画があり、その関係者である編集委員を通じて、自然再生事業(根固めブロックによる魚類の避難場所づくり)のアイデア出しの協力をさせていただくこととなった。